2Dシューティングゲームの制作

安岐 龍也 髙原 康生 小野田 晴仁

1. 研究概要

ゲームエンジンとして代表的である unity を使用し、シューティングゲームの制作を行う。ゲーム制作を通してプログラム言語である C#や C++の特性や言語構造などを学びながら身近にあるゲームがどのように作られているかを知る。

2. 研究の具体的内容

(1)unity について

「unity」は、unity Technologies が 2004年に開発したゲームエンジンである(図 1)。ゲームエンジンとは、簡単に言えば 3D の計算や影の表示、サウンド、メニュー遷移など、ゲーム作りによく使う機能を 1 つにまとめて使いやすくしたものである。ウェブプラグイン、デスクトッププラットフォーム、ゲーム機、携帯機器向けのコンピューターゲームを開発するために用いられるため、全世界で100万人以上の開発者が利用している。最近では、PlayStation4や Xbox、VR/AR などの開発にも対応している。



図1 unityのロゴ

(2)2Dシューティングゲームについて

unity の 2Dモードを使用し、プレイヤーを操作しながら出現する敵を倒していく 2D シューティングゲームを制作した(図 $2 \cdot 3$)。



図 2 2Dモードで制作した シューティグゲーム



図3 制作過程

プログラムの作成には MonoDevelop という ソフトを使用した。 MonoDevelop は対応する 環境であれば OS を問わず動作させることが 出来る。言語は C#という C 言語に改良や制限 を加えた言語を使用した(図 4)。 Visual Studio を使用してもプログラムを作成する ことは出来るが起動が遅いため今回は MonoDevelopを使用した。

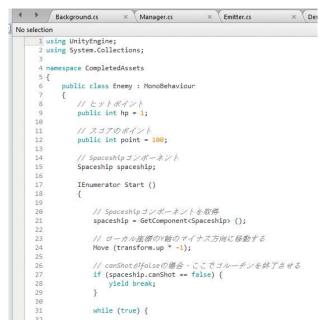


図 4 プログラミング画面

(3)制作過程

ア.プレイヤーの移動

プレイヤーの移動は矢印キーで行い、キー 入力によってプレイヤーの移動する向きと速 度を検出している。

イ.メインカメラの調整

メインカメラとはゲーム画面の全体を映す ものである。メインカメラを調整することで カメラがゲームの範囲外を映すことを防ぐこ とが出来る。

ウ. プレイヤーの弾の作成

弾の画像に弾を動かすためのプログラムを 挿入する。作った画像の子要素として空のゲームオブジェクトを作成するとそのオブジェ クトの位置から弾が出るようになる(図 5)。

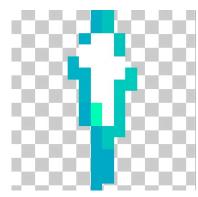


図5 プレイヤーの弾

エ. 敵の作成

敵は複数の異なる位置や角度で弾を撃つことが出来るようにするため、軸を 20 度ずつ傾けることで様々な方向へ弾を発射出来るようにした。

オ. 当たり判定の設定

当たり判定は敵とプレイヤーと弾に設定した。プレイヤーの当たり判定は中心に設定することで範囲を小さくし、難易度を簡単にした。

カ.背景の作成

今回は奥行きを作るために2枚の画像を使用した。それぞれの画像が自動でスクロールされるようにするために2枚の画像の移動速度を変えた。

キ. Wave 型の仕組み作り

Wave とは敵をまとめて前進させるための 仕組みであり、座標を使用して敵の配置を決 める(図 6)。

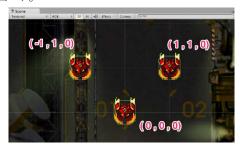


図 6 Wave 型の仕組み

ク. 音をつける

このシューティングゲームには BGM とショット音、敵を倒したときの爆発音をつけた。

ケ. プレイヤーの移動制限・修正

プレイヤーが画面外に移動できないように するために、座標をもとにプレイヤーが移動 できる範囲を制限した。

(4) RPG ゲームについて

2Dシューティングゲームとは別に RPG ゲームも制作した。今回制作した RPG にはバトル機能やストーリー機能が搭載されており、やり込み要素が含まれている(図 8)。



図8 RPG ゲームの画面

(6)制作過程

RPG を製作にあたって、処理を以下のように分けた。

- ア.ステージの作成
- イ.キャラクターの作成
- ウ.カメラワークの調整
- エ.シーンの作成

ア.ステージの作成

今回のステージ製作では teratain という 3D オブジェクトを使った。このオブジェクトは地形の製作を容易に行うことが出来る上、ごく自然な風景を演出することが出来るため使用した(図 9)。

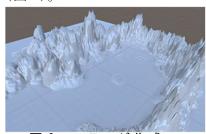


図 9 ステージ作成

イ.キャラクターの作成

キャラクターの作成では主人公であるペンギンと敵であるトラを使った。 主人公が移動する際、移動する方向を 前にすることで自然な移動を再現する ことが出来た(図10)。



図 10 キャラクター

ウ.カメラワークの調整

今回はプレイヤー用カメラとマップ用カメラの2つを用意した。これらはキーボードの「1」を押すことで切り替えることが出来る(図11)。

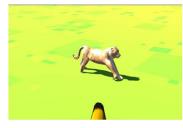




図 1 1 プレイヤーカメラとマップカメラ エ. シーンの作成

今回はタイトル画面とプレイ画面、はじめの町の画面である3つのシーンを作った。シーン制作の際にはプログラムを変更しなければならなかったので難しかった。

オ. 音の作成

音は BGM と効果音の二つを作った。

今回は audiosorce というオブジェクトを使った。このオブジェクトはスクリプトからも操作することが出来るので、使い勝手が良いので使用した(図12)。今回はバトルシーン、プレイシーン、始まりの町シーン、タイトルシーンで音を分けた。

音楽をそれぞれのシーンに合わせるのはとて も難しかった。

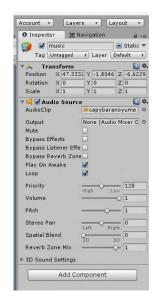


図 12 audiosorce の設定

3. 研究のまとめ

私たちはゲーム作りの知識が全くないままテーマを決めてしまったため、最初のテーマとなっていた人生ゲームの制作を途中で断念してしまった。そのためゲーム作りの知識をつけるために書籍やサイトなどを参考に基礎を身につけていった。その知識を用いて2DシューティングゲームとRPGゲームの制作に取り掛かった。サイトなどを参考にしたためバージョンが異なるなどつまずくことも多々あったが、スクリプト通りに動作した時はとても感動した。この課題研究で得た経験と知識をこれからも活かしていきたいと思った。

参考文献

unity 2D シューティング

https://unity3d.com/jp/learn/tutorials
/projects/2d-shooting-game-jp

2D シューティングゲーム作ってみた http://kto.hateblo.jp/entry/2018/02/06/ /233248

シーン間のスクリプト内の変数の共有 https://qiita.com/YuwUnknown/items/afd c9cd01de7c559ba60 Unity使いそうな関数まとめメモ

https://qiita.com/hiroyuki_hon/items/4c3bd290c795b2481ebd

Unity キー入力まとめ

https://tech.pjin.jp/blog/2015/09/30/unity

COREVALE コアベイル ただいまゲーム制作 中

http://corevale.com/unity/6944

Unity で rigidbody の位置,回転の固定を スクリプトから変更する

https://loumo.jp/wp/archive/2013121000 3026/

【Unity 入門】全方位シューティングを作る

http://babas.hatenablog.com/entry/2018/04/01/190000

Unity で敵キャラが見回りをするように動き回るプログラム - Unity を使った 3D ゲームの作り方 (かめくめ)

https://gametukurikata.com/program/mov
earounddestination

いますぐ使える手軽に使える無料音楽素材 http://amachamusic.chagasi.com/

【Unity 入門】Destroy を完全攻略!初心者必見の便利テクも一覧まとめ

https://www.sejuku.net/blog/53555

【Unity】特定のゲームオブジェクトやコンポーネント、スクリプトにアクセスする http://albatrus.com/main/unity/6276